

保育についての 自己評価

幼保連携型認定こども園うわまち幼稚園

2025年5月

調査概要

- 調査目的 保育・教育について、保育教諭自身で振り返り、評価をする。
- 調査内容 以下6つのカテゴリについてアンケートを実施し、点数を算出する。
 1. 保育の理念・保育観
 2. 保育の内容
 3. 保健活動・安全管理
 4. 保護者・地域との連携
 5. 職員構成・役割分担
 6. 研修・研究活動※詳細は調査票を参照のこと。
- 調査方法 紙のアンケート
- 実施時期 2025年5月
- 回答者 当園の常勤幼稚園教諭、保育士20名（うち主幹3名）

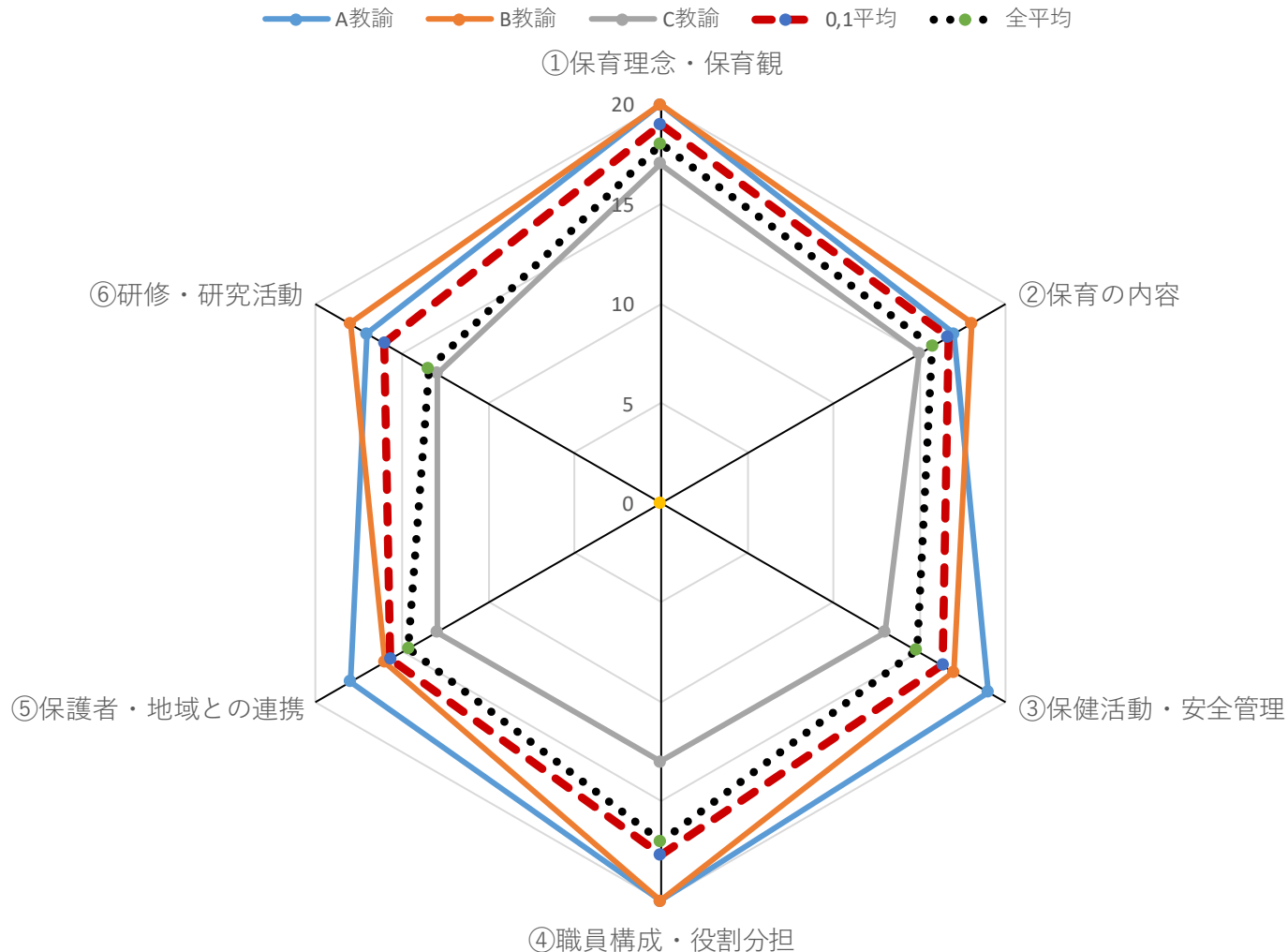
結果まとめ

- 全体では、①保育理念・保育観、④職員構成・役割分担が高かった（20点中17－18点）。反対に、⑥研修・研究活動は低かった（13点）。理念や考え方が浸透し、会議で意見を言ったり、役割分担をし行動することが浸透している一方で、自主的に勉強する姿勢がもう一步と言えるかもしれない。
- ②保育の内容、③保健活動・安全管理、⑤保護者・地域との連携は、中間的な得点だった（15－16点）。
- 経験年数ごとにみると、19年目までは、⑥研修・研究活動を除き、経験年数があがるにつれてスコアが高くなっている。経験を積むことで、技術・自信があがっているのかもしれない。
- 20年目以降は、②保育の内容を除き、10～19年目と同等か低くなっている。20年目以降は主幹等のマネジメント層が多く、担当する学年に対して客観的に「のびしろのある部分」を感じるのであろう。

調査結果とコメント

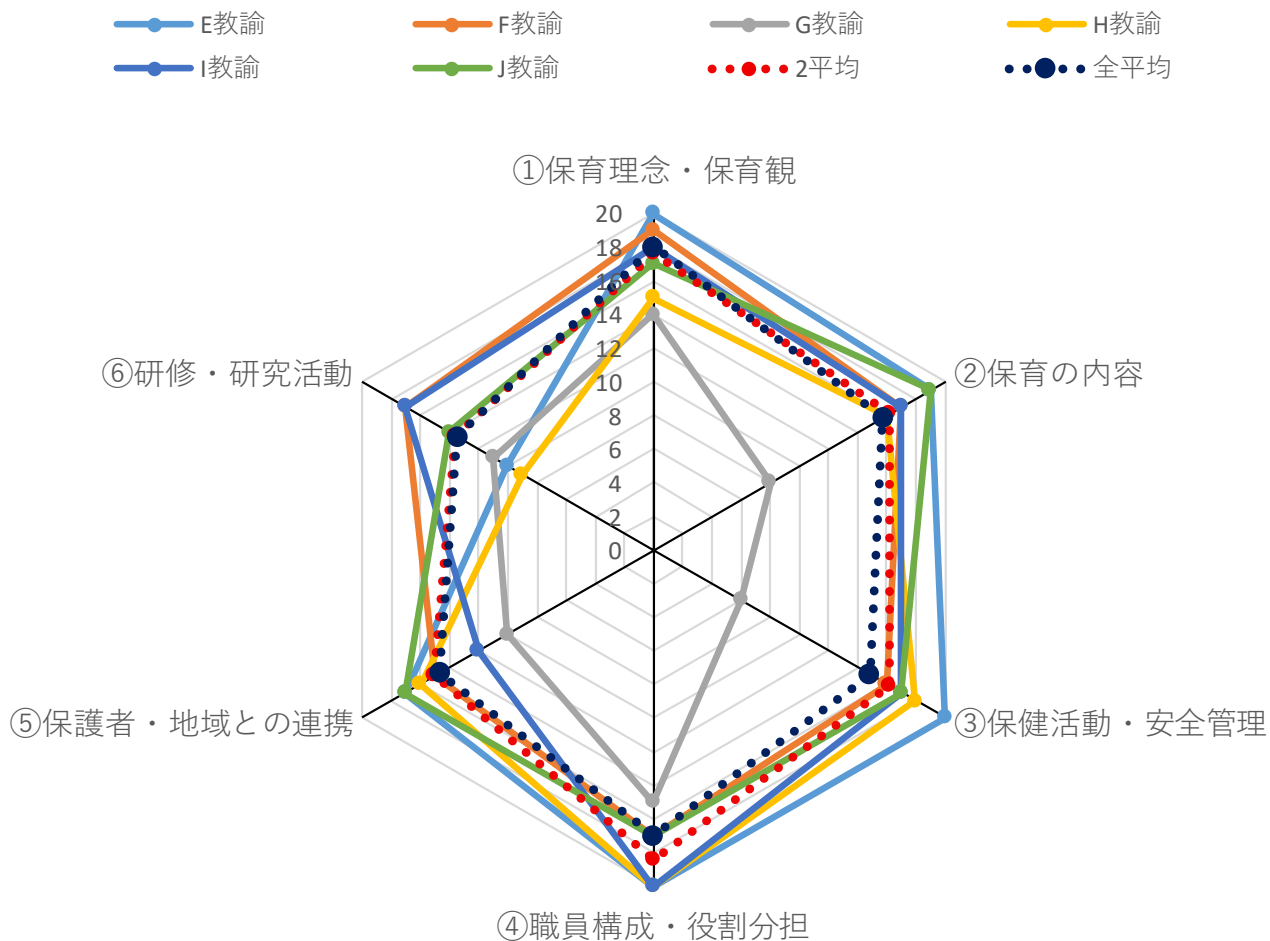
学年ごとの結果① 0, 1才

- どの項目も、0, 1才児クラスの平均点は、全体平均よりも高い。
- 保健活動・安全管理が高いのは、低年齢クラスということもあり、子ども一人ひとりの把握が他学年よりも必要な学年であることの反映かもしれない。



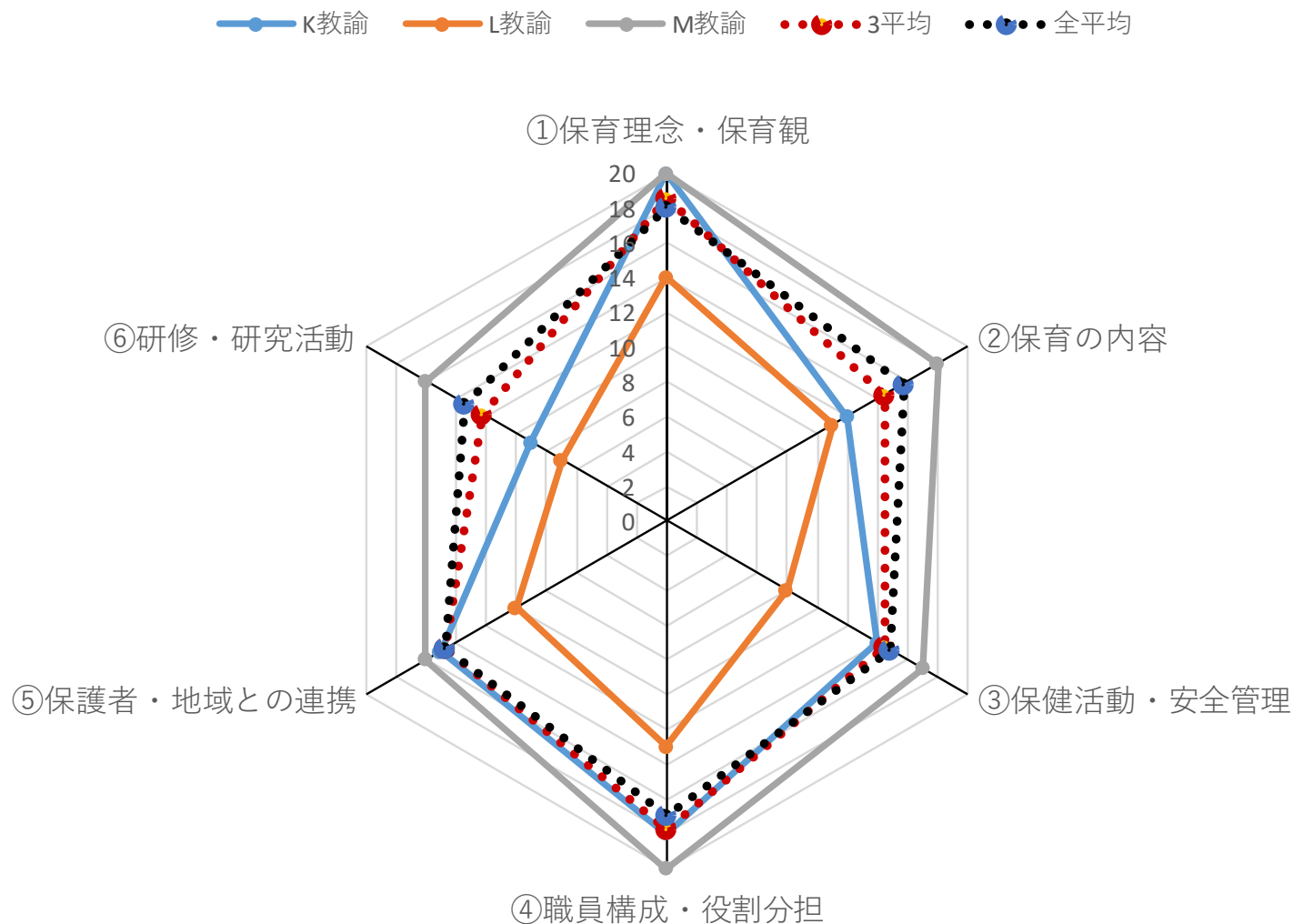
学年ごとの結果② 2才

- 2才児クラスの平均点は、全体平均と変わらない項目が多い（①②⑤⑥）。
- 0，1才児クラス同様、**保健活動・安全管理が高い**が、低年齢クラスということもあり、子ども一人ひとりの把握が他学年よりも必要な学年であることの反映かもしれない。



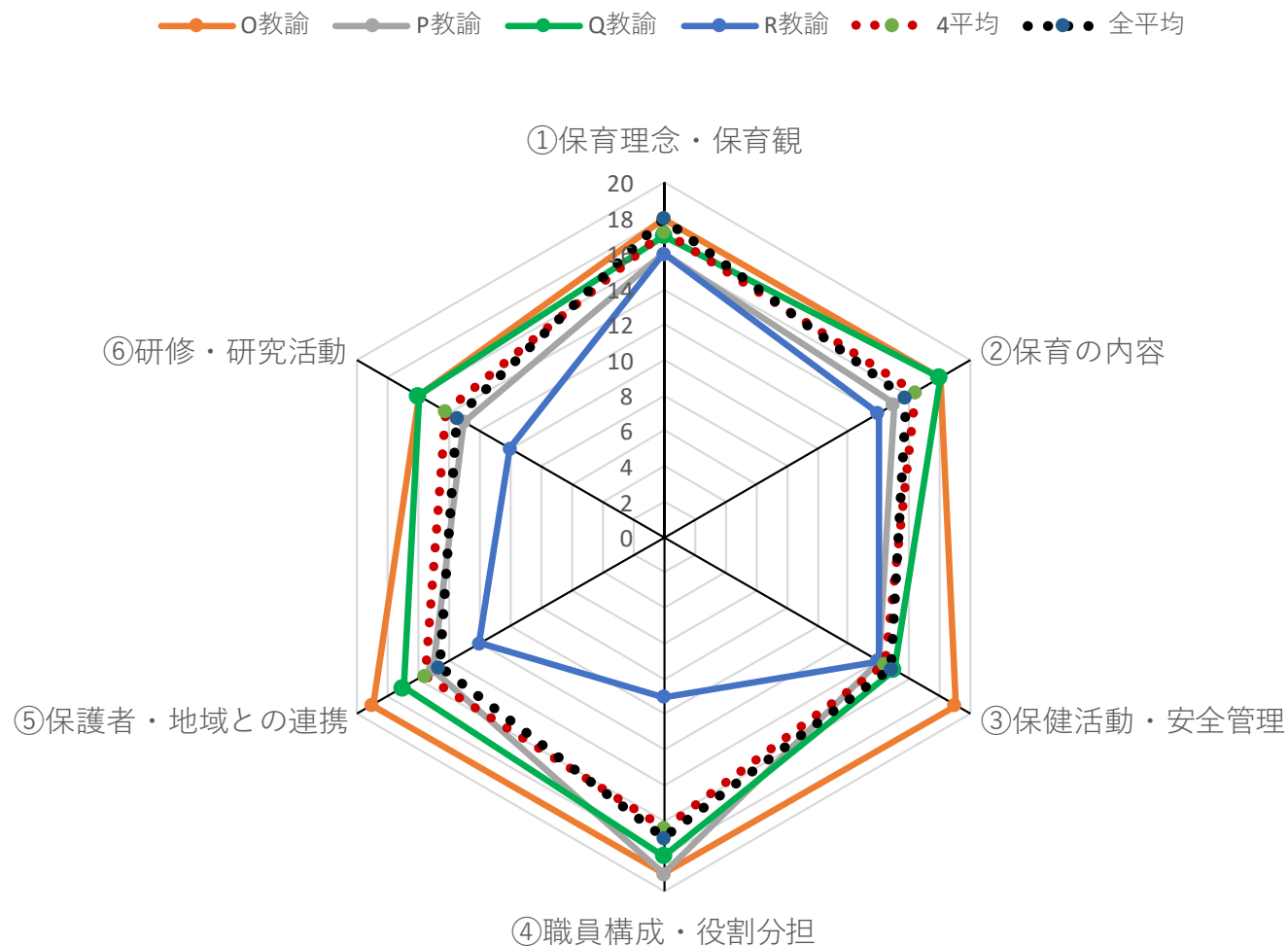
学年ごとの結果③ 年少

- 年少児クラスの平均点は、全体平均と変わらない項目が多い（①③④⑤）が、②保育の内容、⑥研修・研究活動が全体平均よりやや低い。



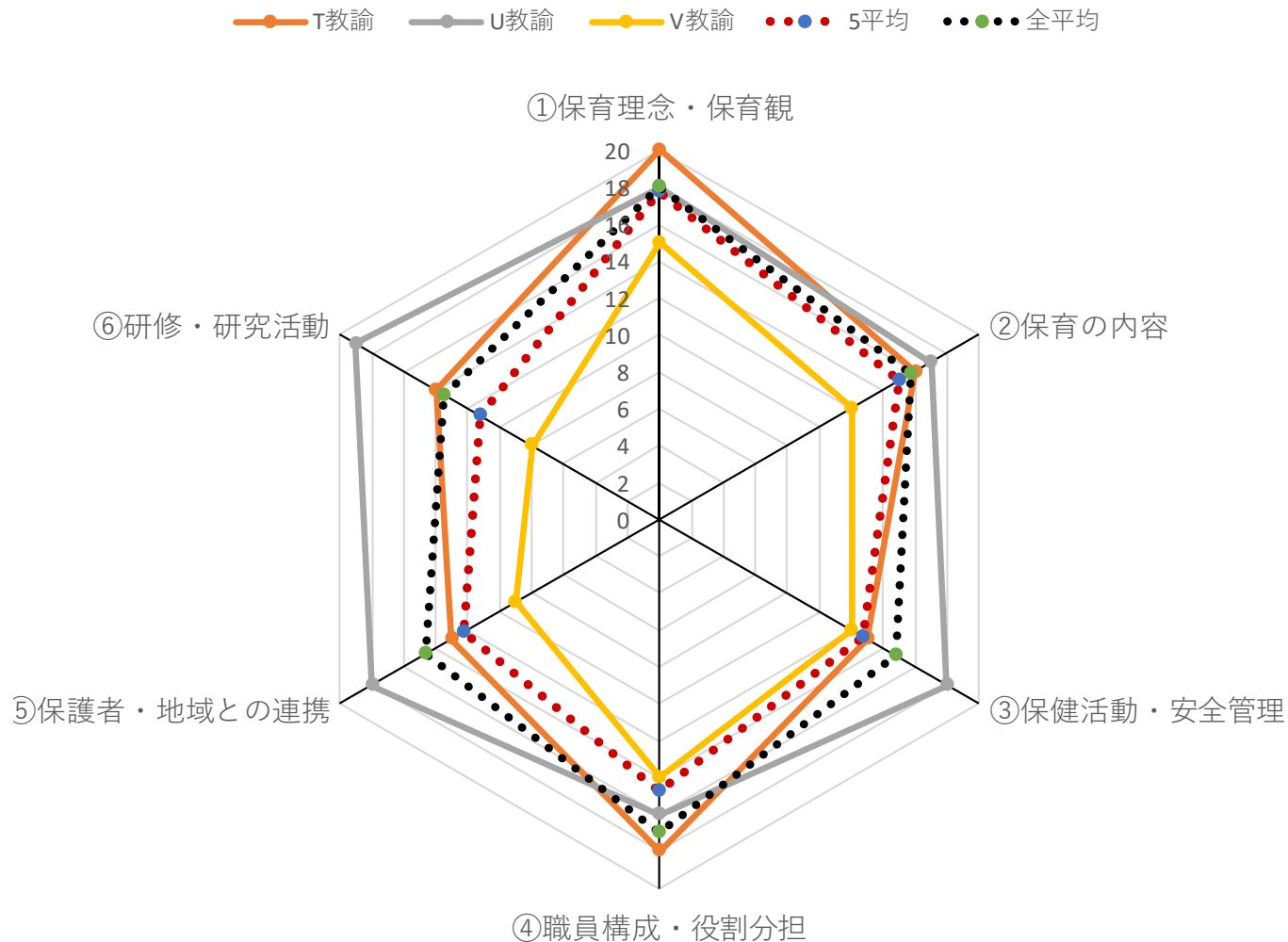
学年ごとの結果④ 年中

➤ 年中児クラスの平均点は、全体平均と変わらない項目が多い。



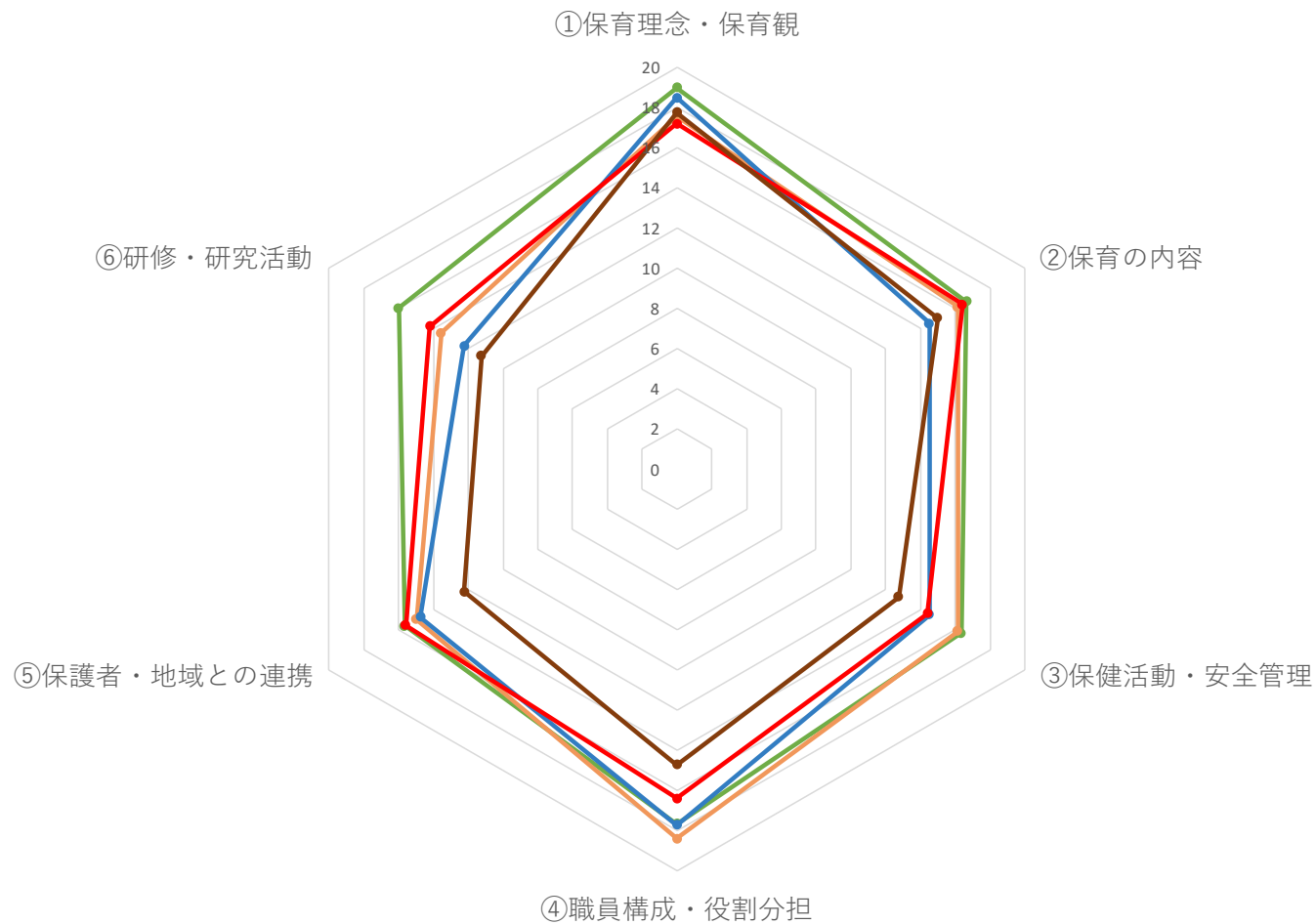
学年ごとの結果⑤ 年長

- 年長児クラスの平均点は、①保育理念・保育観を除いた全ての項目が全平均を下回っている。



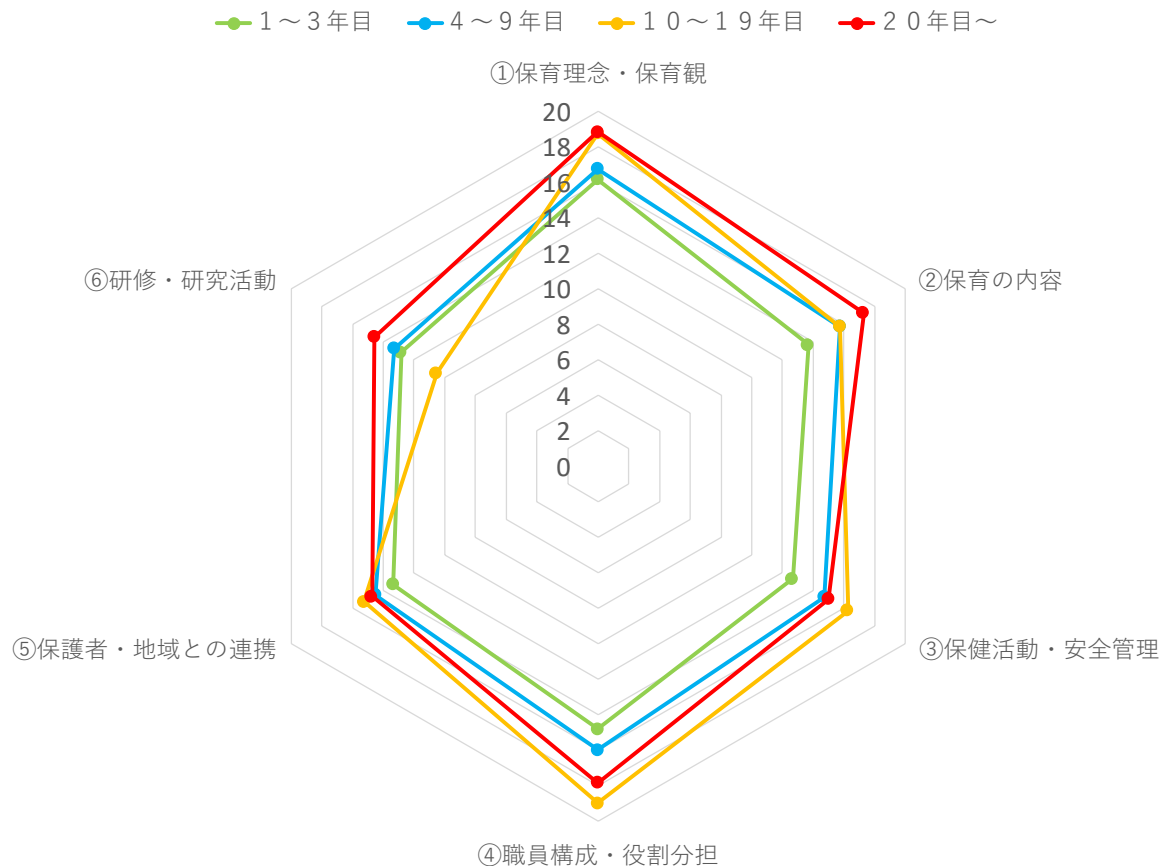
【参考】 学年別の結果

—●— 0,1平均 —●— 2平均 —●— 3平均 —●— 4平均 —●— 5平均



経験年数別の結果

- 19年目までは、⑥研修・研究活動を除き、経験年数があがるとつれてスコアが高くなっている。経験を積むことで、技術・自信があがっているのかもしれない。
- 20年目以降は、②保育の内容を除き、10～19年目と同等か低くなっている。
20年目以降は主幹等のマネジメント層が多く、担当する学年に対して客観的に「のびしろのある部分」を感じるのであろう。



調査票

※各項目を以下で集計し、得点を出す。

そう思う = 2 点、ややそう思う = 1 点、

ややそう思わない = 0 点、そう思わない = - 1 点

1. 保育の理念・保育観

点

(1: そう思う 2: ややそう思う 3: ややそう思わない 4: そう思わない)

- ①あなたはすべての子どもについて、一人ひとりの存在とその人権を意識し、常に尊重していますか。
- ②学校教育法と児童福祉法の理念に基づいて、子どもの生活と健全な発達を保障することが、認定こども園の重要な使命であると理解していますか。
- ③今日の認定こども園には、入園している子どもの保育だけでなく、広く地域の子育ての支援をする社会的役割があることを、日常的に意識していますか。
- ④障害を持つ子ども持たない子ども、一人ひとりが示すありのままの姿を受け止め、健やかに成長することを願って保育をしていますか。
- ⑤育児の考え方について、保護者とあなたが食い違っているとき、話し合い、相手の立場や考え方を理解するよう努めていますか。
- ⑥子どもの家庭状況はみな違うという考えの上で、今、その子に何が必要を見極め、それぞれにとって適切な援助をしていますか。
- ⑦あなたの保育が、子どもの生涯の基礎を培う極めて大切な役割を担っていると認識し、保育にあたっていますか。
- ⑧子どもが熱中しているときは、そのときの保育の内容や流れに変更が生じて、時間の許す限りその活動を見守ることができますか。
- ⑨あなたは、子どもと一緒に思い切り体を動かして遊ぶことを楽しんでいますか。
- ⑩あなたは、今日一日、一人ひとりの子どもに目が行き届いていたかを振り返り、明日からの保育の課題を見つけることができますか。

2. 保育の内容

Figure 1

(1: そう思う 2: ややそう思う 3: ややそう思わない 4: そう思わない)

- ①保育には指導計画（年・月・週・日案など）の作成という、あらかじめ見通しを持った計画性が必要だと思いますか。
- ②あなたの月・週・日案には、子どもの意欲を誘う環境構成が十分に工夫されていますか。
- ③あなたの月・週案には、教育的側面（五領域の視点）だけでなく、養護的側面（基礎的事項）もしっかり盛り込まれていますか。
- ④月・週・日案が実際の子どもの姿・興味・関心に合っていたのか、という視点から、日常的に自分の保育を評価・反省していますか。
- ⑤園の保育理念や方針・目標、あなたの作成した年・月・週・日案のねらいや内容を、あなた自身が保護者にわかりやすく説明できますか。
- ⑥あなたは保育にあたり、子どもの前での服装の色合いに気を配り、頭髮・爪などを清潔にするよう心掛けていますか。
- ⑦あなたは、子ども一人ひとりの日々見える活動の様子の違いをはじめ、生活リズムや欲求の違いを把握した上で、その日の保育を子どもに合わせて変化させる柔軟性を持ち合わせていますか。
- ⑧あなたは忙しい中でも、子どもから発せられる様々な要求を後回しにせずその都度受け止め、すべてではなくとも、応えてあげる気持ちを大切にしていますか。
- ⑨一人ひとりの家庭事情をよく理解・把握してそれを受け止め、安心して甘えられるように、子どもの気持ちに寄り添っていますか。
- ⑩季節に合った適切な装飾など、なごやかにくつろいで過ごせる室内の環境づくりを心掛けていますか。

3. 保健活動・安全管理

点

(1: そう思う 2: ややそう思う 3: ややそう思わない 4: そう思わない)

- ①身長・体重などの定期的計測や園医による診断から、発育・発達の状態を把握して、それぞれを日常の保育に活かすことができますか。
- ②あなたは、その子の体調の些細な変化や異常に速やかに対応するために、日常的に体調や機嫌の状態をつかむよう努めていますか。
- ③あなたは、子どもに何らかの異常が見つかった場合、より適切な応急処置ができるように、日頃から学習訓練をしていますか。
- ④あなたは、健康観察で子どもの健康状態をある程度判断することができますか。
- ⑤子ども一人ひとりの体調をしっかり把握し、食事の量や内容を適切にするなどの配慮をしていますか。
- ⑥備品棚やピアノなどの転倒防止、その他事故が起こらないように、あなたの保育室内外の安全点検を、毎日怠らないよう努めていますか。
- ⑦園庭にガラス破片などの危険なものがないか調べたり、砂場を掘り返して整えるなどの努力をしていますか。
- ⑧地震等の災害や天災に備え、非常災害時にとるべきあなたの役割が自ら確認できていますか。
- ⑨登降園時の事故防止について、保護者が何を注意すればよいか、あなた自身が説明することができますか。
- ⑩そのまま見過ごしたら明らかに危険な子どもの行動には、理由を説明して「いけません」「やめなさい」などの言葉ではっきりと制止していますか。

4. 保護者・地域との連携

点

(1: そう思う 2: ややそう思う 3: ややそう思わない 4: そう思わない)

- ①園での様子を伝え家庭での様子を聞かなかで、子どもの育ちを保護者とともに考え、喜びを分かち合うことができますか。
- ②あなたは、その日子子どもがどんなことに興味を持って遊んだかを、お迎え時に保護者に丁寧に伝えるよう努めていますか。
- ③保護者から突然、お迎えが遅くなると連絡があったときにも、快く応対するよう努めていますか。
- ④たとえ解決ができなくとも、保護者が育児の悩みや心配事を話してみたり、一緒に考えてくれる存在であると思えるよう、あなたは触れ合いを心掛けていますか。
- ⑤あなたの保育に批判的な保護者に対しても、突き放さないで意見や要求を聞く姿勢が保てますか。
- ⑥あなたは、保護者の考えや提案を積極的に聞き、適切と思うものについては、園の方針の許す範囲で保育に取り入れるよう努めていますか。
- ⑦あなたは連絡帳などについて、保護者が内容をよく理解でき、楽しみにするような書き方をしていますか。
- ⑧保護者同士が相談相手になれるように促すため、お互いをよく知り合う機会を多く設ける努力をしていますか。
- ⑨地域の人たちなどによるボランティア活動をどのように保育に組み入れたらよいか、あなたにはきちんとした見通しが持っていますか。
- ⑩老人会・町内会など、地域組織と連携するとき、保育者としてどういう役割を担うべきか、理解ができていますか。

5. 職員構成・役割分担

点

(1: そう思う 2: ややそう思う 3: ややそう思わない 4: そう思わない)

①園長や主任などの指示がどういう意図で出されているかわからないとき、あなたは質問をしたり意見を言ったりしますか。

1	2	3	4

②園長や主任などと議論は十分するが、あなたは最終的な指示に従うことができますか。

1	2	3	4

③例えば園児が登園を嫌がるが続く場合、あなたは園長や主任などに、その原因や対策の仕方を相談していますか。

1	2	3	4

④あなたは職員会議・ミーティングなどで、必要と思う質問や意見をはっきりと発言していますか。

1	2	3	4

⑤職員会議・ミーティングなどで自分の考えと違う結論が出たとしても、それに従って気持ちよく協力し、実行できますか。

1	2	3	4

⑥外部講師などのいろいろな職種の人たちが保育に係わる時、保育者としてのあなたの役割が何であるか、具体的に認識できていますか。

1	2	3	4

⑦あなたが保育者として、他の職種の職員やパートの人たちにどんな役割を果たしてほしいか、具体的な期待を持っていますか。

1	2	3	4

⑧私用などで休んだ日の出来事や連絡・注意事項は、必ず自分から尋ねて確認・理解するように努めていますか。

1	2	3	4

⑨あなたは自分のクラスの教材や備品を点検・管理し、資源（水道・光熱含む）をムダにしないよう、日々努めていますか。

1	2	3	4

⑩あなたの本来の業務以外にも認定こども園に係わる仕事を頼まれたとき、それも職務の一端と考え、責任を持って引き受けていますか。

1	2	3	4

6. 研修・研究活動

点

(1: そう思う 2: ややそう思う 3: ややそう思わない 4: そう思わない)

①あなたは、自分の保育を振り返り、問題点や課題を見つけることができますか。

1	2	3	4

②自分の保育に関する同僚や上司からの提言や意見に、感情的にならず、謙虚に聞くことができますか。

1	2	3	4

③保育をする中で生じた疑問や悩みを解決するために、同僚や上司が理解しやすいように説明することができますか。

1	2	3	4

④あなたは、その日の子ども一人ひとりの特徴的な活動や姿を、後日の指導に活かすために、しっかりと記録に留めることができますか。

1	2	3	4

⑤あなたは、いわゆる「手の掛からない子」「聞き分けのよい子」についても発達課題を見つけ、ケーススタディをすることができますか。

1	2	3	4

⑥保育の疑問や悩みを解決するための調査や観察、保護者との面接の仕方などについての研究・専門書を自分で見つけて、そこから学ぶことができますか。

1	2	3	4

⑦あなたは、他のクラスの指導や運営の仕方についての疑問や感想を、気がねしないでそのクラス担当に話すことができますか。

1	2	3	4

⑧あなたは研修で得た内容・成果につき、他の職員にわかるように丁寧に説明し、意見交換や議論をするのに役立てることができますか。

1	2	3	4

⑨あなたは、園内・外に研修の機会が与えられさえすれば、自費でも参加したいと思いますか。

1	2	3	4

⑩園長はじめ他の職員が、あなたの保育実践のなかでどんな課題があるか、発見や把握ができる保育日誌などの記録が書けていますか。

1	2	3	4